

## 別紙 14 「出港前報告船舶情報訂正 (CMV) 業務 入力項目表」 (2017 年 10 月の NACCS 更改以降)

項番 (※1)	項目名	区分 (※2)	桁数	業務コード (※3)	内 容
3	S P コード	C	16		入力不要 ※ サービスプロバイダー業務を行う者が、サービスプロバイダーコード及びパスワードをNACCSに向けて送信する。
4	船舶コード(変更前)	M	9	信号符字 (コールサイン)	変更前の船舶の信号符字 (コールサイン) を入力する。
5	航海番号 (変更前)	M	10		変更前の航海番号を入力する。
6	船会社コード(変更前)	M	4	NACCS用船会社コード	変更前のNACCS用船会社コード(※)を入力する。 ※ 船会社コードとしてNACCSに登録されているコード
7	船積港コード(変更前)	M	5	港コード (業務コード集の国連LOCODEを参照)	変更前の船積港について、港コード (国連LOCODE 5桁) を入力する。
8	船積港枝番(変更前)	C	1		変更前の船積港枝番を入力する。
9	船卸港コード(変更前)	C	5	港コード (業務コード集の国連LOCODEを参照)	(1) 入力者が船舶代理店の場合には、変更前の船卸港コード (国連LOCODE 5桁) を必須入力とする。 (2) 入力者が船舶代理店以外の場合は入力不可。
10	船舶コード(変更後)	M	9	信号符字 (コールサイン)	(1) 変更後の船舶の信号符字 (コールサイン) を入力する。 (2) 左詰めで入力する。 (3) 9999 は入力不可 ※ 船舶コードは、IMO 番号ではなく、信号符字 (コールサイン) を入力すること。
11	積載船名 (変更後)	F	35		(1) 「項番 10」に入力した船舶コード (信号符字) がNACCSに登録されている場合は、入力を要しない。 (2) 「項番 10」に入力した船舶コード (信号符字) がNACCSに登録されていない場合は、変更後の積載船名を必須入力とする。

項番 (※1)	項目名	区分 (※2)	桁数	業務コード (※3)	内 容
12	船舶国籍コード (変更後)	F	2	国・地域名コード (業務コード集の国連LOCODEを参照)	(1) 「項番 10」に入力した船舶コード(信号符字)がNACCSに登録されている場合は、入力を要しない。 (2) 「項番 10」に入力した船舶コード(信号符字)がNACCSに登録されていない場合は、変更後の船舶国籍について、国・地域名コード(2桁)を必須入力とする。
13	運航船会社航海番号(変更後)	C	10		(1) 変更後の運航船会社航海番号を入力する。 (2) 左詰めで入力する。 (3) 入力者が利用運送事業者の場合は入力不可。
14	航海番号(変更後)	M	10		(1) 変更後の航海番号を入力する。 (2) 左詰めで入力
15	船会社コード(変更後)	M	4	NACCS用船会社コード	変更後のNACCS用船会社コード(※)を入力する。 ※ 船会社コードとしてNACCSに登録されているコード
16	船積港コード(変更後)	M	5	港コード (業務コード集の国連LOCODEを参照)	(1) 変更後の船積港について、港コード(国連LOCODE 5桁)を入力する。 (2) 該当する港コード(5桁)がNACCSに登録されていない場合は、国・地域名コード(2桁)の後に「ZZZ」を付したコードを入力する。 ※ NACCSに登録されていない港コードを入力して報告した場合、3桁目から3文字分を「ZZZ」に自動変換処理が行われることに留意する。
17	船積港名(変更後)	F	20		(1) 「項番 10」に入力した船積港コードがNACCSに登録されている場合は、入力を要しない。 (2) 「項番 10」に入力した船積港コードの下3桁を「ZZZ」と入力した場合(NACCSに登録されていない港コードを入力して報告することにより、船積港コードの下3桁が「ZZZ」に自動変換処理が行われる場合を含む。)は、船積港名を必須入力とする。
18	船積港枝番(変更後)	C	1		(1) 変更後の船積港枝番を入力する。 (2) 同一航海において、同一の港に複数回寄航しない場合は、入力を要しない。 (3) 同一航海において、同一の港に複数回寄航する場合は、寄航回数に対応する枝番を必須入力とする。 (入力例) ・2回目の寄航の場合は「1」 ・10回目の寄航の場合は「9」 ※ 船積港枝番単位で出港前報告日時報告(ATD)

項番 (※1)	項目名	区分 (※2)	桁数	業務コード (※3)	内 容
					業務の実施が必要となるため、寄航回数に対応する枝番と異なる枝番を入力することがないよう留意すること。
19	出港予定年月日 (変更後)	M	8		変更後の船積港出港予定年月日を現地時間又はグリニッジ標準時により、西暦（8桁：yyyymmdd）で入力する。
20	出港予定時分(変更後)	M	4		変更後の船積港出港時間を現地時間又はグリニッジ標準時により、時分（4桁：hhmm）で入力する。
21	グリニッジ標準時差分	M	5		<p>(1) 「項番19」の出港予定年月日(変更後)及び「項番20」の出港予定時分(変更後)を現地時間で入力した場合は、現地時間とグリニッジ標準時との差分を正表示「+」又は負表示「-」を付して、時分（4桁）で入力する。</p> <p>(2) 船積港が「THBK K」で、出港時分が現地時間20時2分(グリニッジ標準時13時2分)の場合の入力例は以下の通り。</p> <p>① グリニッジ標準時で報告する場合 「項番20」出港時分欄には「1302」と入力する。 「項番21」グリニッジ標準時差分欄には「00000」と入力する。</p> <p>② 現地時間で報告する場合 「項番20」出港時分欄には「2002」と入力する。 「項番21」グリニッジ標準時差分欄には「+0700」と入力する。</p>
22	緩和措置対象地域識別(変更後)	C	1		<p>変更後の航路が、法令に基づき緩和措置が適用される近海航路(※)の場合は、「Y」を入力する。</p> <p>※ 本文3-(3)-B及び別紙2を参照。</p>
※ 項番23「個別変更B/L番号」については、最大100回繰返し入力することができる。					
23	個別変更B/L番号	C	35		<p>(1) 個別にB/L番号を指定して船舶情報の変更を行う場合は、対象となるB/L番号を入力する。</p> <p>(2) 項番4「船舶コード(変更前)」から項番8「船積港枝番(変更前)」に入力した内容と一致するオーシャン(マスター)B/L番号又はハウスB/L番号の積荷情報について、船舶情報を一括して変更を行う場合には入力不要。</p>

(※1) 各業務に対応した業務仕様書(入力項目)の項番を表示している。

なお、業務仕様書は、NACC S 掲示板(<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/afrij/index.html>)に掲載している。

(※2) 「区分」の見方は以下のとおり。

①「区分」の内容

区分	内容
M	必須項目
C	条件付項目
F	補完後必須項目
X	入力不可
-	入力無視

②「区分」レベル

(例)

項目名	区分	
項目A	C	
項目B		M

下位レベルの項目は上位レベルの項目の区分に従属する。

※項目Aは条件付項目であり、入力する場合としない場合がある。

項目Bは項目Aの下位レベルにある必須項目のため、項目Aの入力がある場合、項目Bは必須入力となる。

(※3) 業務コード集については、NACC S 掲示板

(<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/afj/index.html>) に掲載している。